

令和6年度 中学校「理科」観察・実験基礎研修B 実施要項

1 目的 教科書に記載されているような観察や実験に関して、基礎的な知識及び実施に必要な手法を学び、生徒が目的意識をもって安全に観察や実験を行うよう配慮した授業を展開する指導力の育成を図る。

2 対象 中学校、義務教育学校、府立支援学校中学部の理科指導経験が1～3年程度の教員
募集人数 12名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	8月1日(木) 14:00～17:00	第二分野の観察・実験の基礎 —安全かつ効果的な観察・実験 を行うために— [講義・実習]	大阪府教育センター 指導主事等

4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
(4) 事前に準備しておく事項があるので、教員研修プラットフォームを必ず確認すること。

6 担当室 小中学校教育推進室

1 目的

理科で育成をめざす資質・能力と学習指導要領の内容や、児童が見通しをもって観察・実験を行う授業について学ぶことを通して、理科の授業づくりに関する指導力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期															
第1期										○	○	○			
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	第二分野の観察・実験の基礎 —安全かつ効果的な観察・実験を行うために—	第二分野の基本的な知識と観察・実験技能を身に付けるとともに、観察・実験を行うに当たっての留意点を知る。	講義や実習を通して、基本的な観察・実験を行いながら、「観察や実験の技能」と「実験用具や教材の工夫・製作」及び「よりよい観察・実験方法」などについて学ぶ。	準備物 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編